

## 第 196 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：2014 年 1 月 25 日（土） 13:00～18:30

場所：大阪工業大学うめきたナレッジセンター（〒530-0011 大阪市北区大深町 3 番 1 号）  
（グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル タワーC 9 階 セミナー室 1）

出席者：馬野（会長）、林（副会長）、中嶋（副会長）、乾口（将来構想）、井上（会計）、  
工藤（大会事業）、関（広報）、星野（電子化検討）、前田（庶務、会誌）、  
安信（会計監事）、和多田（事業監事）

欠席者：秋山（賞選考）、佐藤（他学会連携）、徳丸（事業）、三河（オブザーバ：編集委員長）

### 1. 前回議事録の承認（資料 196-0）

第 195 回理事会の議事録の確認を行い、承認された。

### 2. 理事会メーリングリスト報告済事項の確認

理事会メーリングリストで既に報告されている以下の事項の確認および報告がなされた。

#### (1) FSS2014 の進行状況報告（星野）（資料 196-1）

- ・星野理事より、高知城ホールを予約済みであるが、予算案と会場費を見直す必要があること、大会ホームページは制作をほぼ終了したこと、ポスターは原案（デザインは大阪国際大学森本研究室が担当）を作成済みで学会誌 2 月号に同封予定であること、などが報告された。
- ・複数の理事から、2 月号会告に掲載予定の FSS2014 の日程について、一般と企画の原稿提出締切が異なっているので従来通り同じ締切（6/30）に統一すること、曜日の間違いを修正すること、ポスターデモコンペの事前登録申込締切を削除すること、などの指摘があり、修正することになった。
- ・星野理事からは、名義後援として高知工科大と高知コンベンションセンターを加えたこと、近日中にカラーチップスに行つて SNS システムの改良について相談する予定であること、の報告もあった。

#### (2) SCIS&ISIS2014 準備状況および将来構想委員会（工藤）（資料 196-2）

- ・工藤理事から、SCIS&ISIS2014 準備委員会のメンバーが決まったことが報告された。準備は今のところ順調に各部門で進められているとのことであった。

#### (3) 事務局委託契約の締結について（井上）（資料 196-10）

- ・井上理事から、配布資料の業務委託契約書で事務局と今年度の委託締結を行ったことが報告された。

### 3. 理事会メーリングリスト審議済事項の確認

理事会メーリングリストで既に審議されている以下の事項の確認と審議がなされた。

#### (1) 準会員と法人会員および会員数の取り扱いについて（林、関、井上）（資料 196-3）

- ・林副会長から、現在、会員数の取扱いが学会誌とホームページ等であいまいであり、SNS 登録の準会員の取り扱い方法等を議論したほうが良いとの指摘があった。
- ・関理事から、WEB ページの会員数の記載と事務局の集計が異なっているため、統一すべきとの指摘もあった。
- ・今回の理事会では、時間の都合上審議することができなかった。

#### (2) 年会費減免申請について（井上）（資料 196-4：回収）

- ・井上理事から、現在学会費を半免している障害者（2 級、氏名は匿名とする）の学会員からの年会費減免申請書が提出されたことが報告され、承認された。
- ・本人確認のため依頼事項として、申請書とともに障害者手帳のコピーを添付していただくことになった。

(3) 特別会員の申請について (林) (資料 196-5)

- ・林副会長から、山下先生(元早稲田大)から特別会員の申請があったことが報告され、規程を満たしているため承認された。

(4) 評議会規程改訂について (林) (資料 196-6)

- ・林副会長から、評議会規程の見直しが必要であるとの説明があり、中でも第2条、第5条が特に問題であるとの指摘があった。
- ・理事からも、代表者(評議員長)を決める必要があること、モニタ委員会を含めるかどうかを決める必要があること、などの意見が出された。
- ・今後、モニタ委員会の位置づけおよび評議員会規程を見直す必要があることも確認された。
- ・評議会規程の第7条は、「理事会の議を経るもの」ではなく、「総会の議を経るもの」に変更すべきであるとの指摘があった。

(5) 理事会メーリングリストでのメール審議について (前田) (資料 196-7)

- ・前田理事より、緊急案件の理事会メーリングリストにおけるメール審議の方針について提案がなされた。
- ・議論の末、メール審議については、今後以下のような方針で取り扱うことに決まった。  
「緊急案件については、メール題目の前に(審議事項)と記載したメールを理事会メーリングリストに送付し、メール審議により期間を限って議論をした後、理事の意見を勘案し会長が承認したものであるものについては、理事会承認(仮承認)とし、次回理事会にて報告事項とすることで正式承認(本承認)とする。」

(6) 大会事業委員会の再編成について (工藤) (資料 196-8)

- ・工藤理事より、FSSの開催を各支部主導の実行委員会から理事会主導の実行委員会に移行することを目標としているが、今期については大会事業委員会の編成が遅れたため、FSS2014では当初予定とは異なる位置づけ(Advisory Committee)で編成したいとの報告があった。
- ・工藤理事からは、大会事業委員会メンバーはこれまでのFSSの運営に関わった人を中心に選んだこと、あと数名増やす必要があること、委員の地域が分散しているためMLやSkypeで議論する予定であること、なども報告された。
- ・工藤理事から、大会事業委員会の任期が不明であること、事業委員会と大会事業委員会の役割分担がやや不明確であること、などが指摘された。
- ・林副会長から、現場と大会事業委員会の作業切り分けができたほうが良いとの意見が出された。現時点では、FSSよりもSCISのほうが手作業が多く、こちらのほうが問題であるとの指摘もあった。

(7) 理事等選出規程の見直しについて (馬野) (資料 196-9)

- ・馬野会長から、前選挙管理委員長の高萩先生からの理事等選出規程の見直しについての要望事項に基づき、修正した規程の提案がなされた。理事等選出規程の中でも第3条が最も問題であり、「理事会の推薦」の記述はやめて、理事等候補者は理事会から入らないほうがよいとの意見が出された。
- ・投票は代議員制にする方法(SCIEやシステム制御など)も考えられるが、その場合、総会が成立しない。比較的小規模な学会であるSOFTは全会員の投票としたほうが良いとの意見が理事から出された。
- ・評議員の代表(別途選出。必ず選挙管理委員会に加わる)が、次期理事候補を決めて、学会員全員で選挙する方式で行うことに決定した。また、被選挙権は正会員のみにあるが、選挙権は従来の正会員、学生会員に加え、特別会員にも与え、名誉会員ははずすことになった。
- ・これまでは投票の有無をまず決める必要があったが、今後は必ず投票することにしたほうが良いとの意見が出され、承認された。これに伴い、第4条4項を消去することになった。
- ・今回決定された内容を含めて、理事等選出規程と評議会規程の改定案を次回までに馬野会長と林副会長が作成して再度審議することになった。

(8) 将来構想フォーラムについて（中嶋、乾口）（資料 196-11）

- ・中嶋副会長から、これまで現理事会では会員の意見を収集するアンケートを実施し、SOFT 活用に期待するアイデアを議論して来た経緯があるが、支部や研究部会などの主導的な会員の意向やニーズ調査が不足しているため、将来構想フォーラムを企画・実施することが提案された。
- ・将来構想フォーラムは、今回については理事会主導で行うことが確認され、研究グループ代表＋理事・監事が一同に会して、FSS2014（高知）の 3 日目から翌日にかけて実施することに決まった。
- ・馬野会長からの提案で、本件に関連して、学会誌にコラム「理事会だより」を復活することになった。理事会メンバーが交代で毎号自由意見を述べて、会員に対して開かれた理事会を目指す。
- ・乾口理事からは、将来構想委員会のミッションの定義が難しい、将来構想フォーラムの開催も将来構想委員会のミッションになるのではないかという意見が出された。議論の結果、将来構想フォーラムは理事会主導で開催し、現在実施中の会員アンケートと将来構想フォーラムの結果を受けて、学会の今後について検討していくことが将来構想委員会の今期の課題とすることになった。将来構想フォーラムには将来構想委員会のメンバーも参加して、議事録を作成し、今後の議論に生かすことが決まった。
- ・これに関連して、乾口理事から、次回の総会までに将来構想委員会を立ち上げないといけなことが報告され、名古屋、九州、北海道の委員を加え 16 名の候補者からメンバーを絞り込むことになった。

(9) SOFT Computing Repository (SOFT CR) の HP と収集方法（関）（資料 196-12：当日配布）

- ・関理事から、今回の理事会に先立って開催された広報委員会の結果について報告があった。
- ・SOFT CR は、まずソフト収集のきっかけとして、理事会、広報委員会メンバーにノルマを課すことにしたいとの報告があり、一人 2 件のノルマを与えることになった。
- ・関理事から、現時点でできている SOFT CR の HP のテストページについての説明があった。
- ・提供されたソフトの概略内容チェックは広報委員会が中心に行い、ソフト提供者からの問い合わせも広報委員会（またはそれに代わる委員会）が対応することになった。

(10) 高校・大学・企業での出前キャラバン（案）（関）（資料 196-13：当日配布）

- ・関理事より、理事会で現在検討中に出前キャラバンについて、4 学協会（日本経営工学会[主催]、日本インダストリアル・エンジニアリング協会、日本技術士会、日本オペレーションズ・リサーチ学会）による出前キャラバンに相乗りしてはどうかとの提案がなされた。
- ・理事からは、相乗りすると学会名は目立たなくなる、高校・大学への効果は期待できるが、企業はあまり期待できないのではないか、などの否定的な意見が出された。
- ・林副会長からは、出前キャラバンを実施からには、まず SOFT 側の主旨を検討しておく必要があるとのコメントがあった。

#### 4. その他

馬野会長より 2 件の報告事項があり、事後承認された。

(1) 横幹連合の SOFT からの理事推薦について

- ・該当者なしということで、今回は見送ることにしたことが報告された。

(2) 学術会議の SOFT からの委員推薦について

- ・福田先生、廣田先生を SOFT から推薦することにしたことが報告された。

#### 5. 次回理事会について

次回理事会は、3 月第 1～2 週の 2 週間で日程調整を後日行うことになった。